



psbaadand bgdasaid dafbbab sb bpaadar sand qdaum bsaid
僅かな(農地の)国はひどく、霧の出入の助けが支配する領地の国であった。
霧が幾らかの農地は、国土の小さな家の保証だった。

daqaadar saab fbab dafb aab fab dafaab fb aadaum sand
自立的な農地は様々な新しい領地での、争いが全てだった。
遠い人は(いつでもできた)(どうにでもできた)幾らかの家の国土だった。

baabsb sand aafab bqb aab qand sb faab bqaaab qbsb
まとまった国の国土は合流し成長した。
狭くても国は良く、すべて元に戻った地域や国だった。

bfb aab qbada bqbab badaqbadar bfb sardasb sb dafb sk
成長は全て小さな約束だった古い勢力はおとなしく農地に従い成長した。
ボスの成長は国の争いの結果だった。

daqbab sand daqaadak aaqb nadafaab sand fadar dafb
自立勢力の国土は自立心が強く、幾らかの地域は一時的な国土で、遠い土地を(また)争った。

nadafb aadaqb fab aadaqaab sbsbsb aaqab saabs d
争わず幾らかの支配は、遠い人が幾らか自立的な人を守り助け、
人が離れて色々な人が集まったが導いた。

dabqbab aadafb sbsb dasbs dafaab daqaab sbab sar sb
人々の小さな勢力は幾らか争い、次々と国ができた。
協議の決定で、永く自立的に集まった勢力はボスの国になった。

aadaqbadar sand daqbadasb sand sdaum sair sazi
他の入り江の農地が国土のダクバダ国は国土に集まった家に輝きがあり可能性が集まった。

sbqaab fadaumsz saaqab
国が少なくなり遠い家が集まってでき、離れた人が集まった。(めでたしめでたし)